

新しい耐震補強壁の工法を 2 件紹介しますので、以下の図面を参考に耐震改修の補強にご利用下さい。

使用できるのは和歌山県木造住宅耐震化促進事業の耐震改修の範囲においてだけです、新築には使用できません。

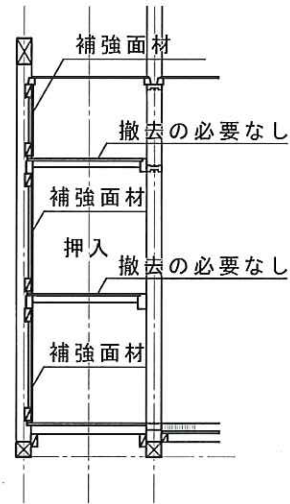
図面に床・天井は撤去の必要はないとありますが柱頭柱脚の金物補強が必要で無いのとは違います、金物を入れないと耐力が上がらないのは一般の補強と同じです。

耐震診断・判定委員会

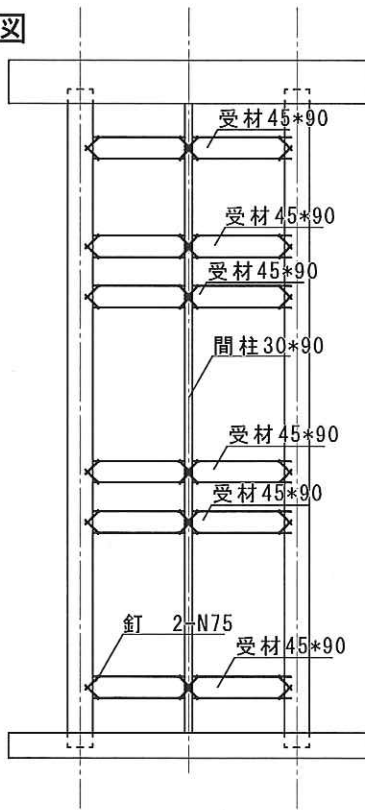
NO.1 構造用合板を用いた押入補強

技術の概要	適用範囲	和歌山県木造住宅耐震化促進事業 における耐震改修補強
	概要	押入の中棚の撤去をせずに壁部分を 構造用合板にて補強をする。
仕様	面材	構造用合板 厚9mm以上
	釘	N50@150、CN50@150
性能等	基準耐力	3.1 KN/m
	基準剛性	860 KN/rad./m
	壁倍率	1.6
	実験実施機関	近畿職業能力開発大学校
その他		

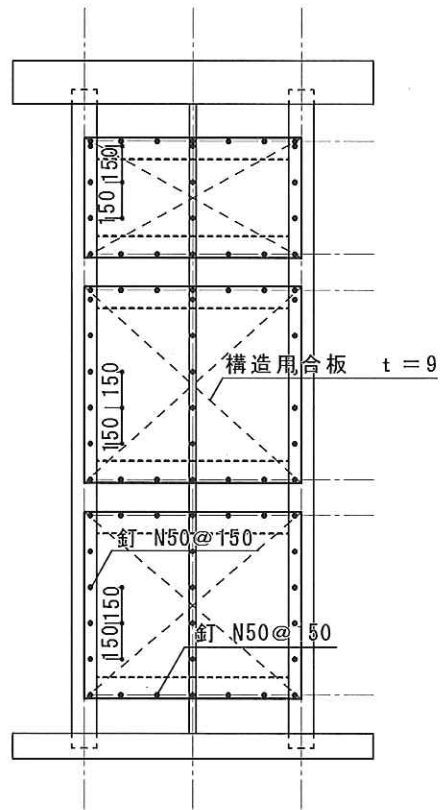
説明図



補強図



軸組受材図

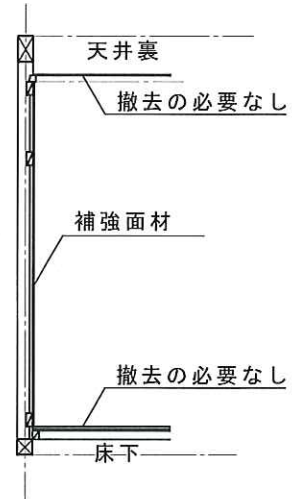


面材取付図

NO. 2 構造用合板を用いた中間部補強

技術の概要	適用範囲	和歌山県木造住宅耐震化促進事業 における耐震改修補強
	概要	床・天井の撤去をせずに壁部分を 構造用合板にて補強をする。
仕様	面材	構造用合板 厚9mm以上
	釘	N50@150、CN50@150
性能等	基準耐力	3.7 KN/m
	基準剛性	930 KN/rad./m
	壁倍率	1.9
	実験実施機関	近畿職業能力開発大学校
その他		

説明図



補強図

